

「良い授業のための指針」について

東北工業大学 FD 委員会

本学の FD のため「良い授業のための指針」をまとめた。そのポイントは以下の①②③④⑤(「良い授業のための PDCA」)からなっている。

①授業計画およびシラバスの作成(Plan:P)

- ・担当科目について、次の項目を吟味し、授業計画を立て、シラバスを作成する

授業の達成目標 授業計画 科目と学生が身につけるべき能力との関係の明示 成績の評価基準および方法

教材(教科書・参考書・資料) 準備学習

- ・複数の教員で担当する科目では、担当者で協議の上 同一のシラバスとする

②授業の実施および成績の評価(Do:D)

- ・授業方法は、講義、演習、実験、実習あるいはそれらを混合したもの

・各授業形態で最も教育的な効果が発揮できるように、また成績はシラバスの評価基準や方法にしたがって評価できるように以下の点に配慮する。なお、同一科目を複数教員で担当する場合には、担当者で協議のうえ協力して実施する

1)科目の位置付け

各回のポイント整理・科目の目的の確認

2)わかりやすく、興味を惹かれる説明

復習や適度な繰り返し・周到な準備・体験や経験に裏打ちされた情報の提供

講義と演習を取り入れた授業など

3)教材の巧みな活用

教科書や参考書の活用・補助資料の配付・視聴覚資料の準備

4)教具の適切な使用

話のテンポや声の大きさ(マイク)・板書の大きさ、見やすさ、色使い、消すタイミング

・スライドの作り方

5)学習環境への配慮

質問しやすい雰囲気・注意の喚起・学生同士が相談、意見交換できる授業・学生への問いかけ・

face-to-face の授業・適切なコミュニケーション

室温や騒音

6)学生の満足度に配慮した授業運営

理解度の異なる学生の全体的な満足度の向上

理解度の高いあるいは低い学生が意欲をなくさないこと

学生が不公平感を抱かない配慮

7)学生に対する姿勢

教員の熱意・品位あることば使いや行動・丁寧・誇りを傷つけない配慮

8)成績評価

「授業の達成目標」との整合性を確保した評価基準と評価方法

成績評価の客観性・透明性・公平性の確保

③学生による授業の評価(Check by Students: Cs)

学生による授業評価(「授業アンケート」)を実施する

－FD 委員会の統一方式の他、学部学科あるいは教員が独自に実施するものなど

－FD 委員会の定めた評価結果および自由記述に対する回答の公表

④教員の自己点検(Check by Ourselves: Co)

シラバスに掲載された各項目の教員による自己点検およびその評価の公表

⑤改善(Act: A)

「授業アンケート」の結果に基づいた授業改善の実施

本学 FD 委員会の企画した事業、学内外で企画実施された FD 関連事業や研修会への参加に基づいた授業改善